

令和元年度 第2回田原市総合教育会議 議事録

1 日 時 令和2年2月17日(月) 午前11時00分～午前11時58分

2 場 所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室

3 内 容

- (1) 議事事項 (プール施設のあり方・スクールバスの運用の検討について)
- (2) 議事事項 (部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について)
- (3) その他

4 出席者

市 長		山下 政良
教育委員会 教育長		花井 隆
教育委員会 教育長職務代理		太田 孝雄
教育委員会 委員		金田 真也
教育委員会 委員		天野 千栄子
教育委員会 委員		高崎 佐智江

5 会議構成員以外の出席者及び事務局

企画部長	石川 恵史
教育部長	宮川 裕之
企画部次長	内田 久
企画部企画課長	大羽 浩和
教育部教育総務課長	伊藤 英洋
教育部学校教育課長	渡邊 宏光
教育部教育総務課課長補佐兼係長	小久保 義則
企画部企画課係長	佐々木 豊
教育部教育総務課主査	彦坂 幸子

6 傍聴人

なし

7 協議の経過

(企画部長)

時間となりましたので、ただ今から令和元年度第2回田原市総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、始めに、山下市長からあいさつを申し上げます。

(市長)

おはようございます。第2回目の田原市総合教育会議ということで、よろしくお願ひいたします。令和2年度予算については、国の税制改正や人口減少に対応するための編成を行ったところですが、「出産・子育て・教育環境の充実」と「交流人口の拡大」に力を入れてまいります。今後は財政的に厳しくなりますが、企業版ふるさと納税など新たな財源確保に取り組んでまいります。現在進めている温泉掘削がうまくいけば、入湯税の収入が見込まれます。

本日は、ご審議をいただき、いろいろなご意見をお聞かせいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(企画部長)

ありがとうございました。

それでは、議事についての進行は、本会議の議長であります市長にお願いいたします。

市長、よろしく申し上げます。

(市長)

それでは、議事事項に入ります。(1) プール施設のあり方・スクールバスの運用の検討について、事務局から説明をお願いします。

(教育総務課長から (1) について説明)

(市長)

ただいま、プール施設のあり方・スクールバスの運用の検討について、事務局から説明がありました。ご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

(太田委員)

今後、プールのあり方を検討する中で、かなりの経費がかかるがインストラクターの派遣は必要か。場所を借りて教員が指導することはできないのか。

(教育総務課長)

今回の実証は、教員の働き方改革や多忙化解消に向け、指導方法も含めて検討していく。

(太田委員)

インストラクターは将来的にも必要と考えているのか。

(教育総務課長)

今後も必要だと考えている。また、民間プールだけではなく、近隣の学校との合同授業も実証する予定となっている。

(教育部長)

インストラクターが効果的か、教員で十分対応できるかという点も含めて検証していく。

(太田委員)

今までも教員がプール授業を実施してきたが、これだけの経費が必要か。

(教育総務課長)

インストラクターの指導方法、プールの利用方法などについて、運用していく中でどこまで必要かを検討していく。

(天野委員)

インストラクターを含まないと民間プールを借用できないのか。

(教育総務課長)

借用できないわけではない。インストラクターは市内にはいないため、豊橋市から派遣して

いただく。

(金田委員)

市民への周知についてはどのように考えているのか。

(教育総務課長)

検討することについては議会に対して報告している。今後は、検討結果も含めて広く周知していく。

(金田委員)

田原市の現状を考えると、このような方向にしていくべき。市民の皆さんに理解していただき、うまく進めてほしい。

(教育部長)

今後、PTAなど保護者の方々にもあらゆる場面でお伝えしていきたい。

(市長)

豊橋市は学校のプールは使用しない方針と聞いている。

(学校教育課長)

豊橋市は、小学校のプールは使用しないと聞いている。民間プールを利用するか、近隣にない学校については水泳の実技授業は行わないと聞いている。

(教育長)

学習指導要領では、やむを得ない場合は実技授業を行わないことも認められている。

(市長)

本市は使えるところは使っていくが、すべての学校プールを更新することはできない。そのため、将来に向けて市民プールの整備も含めて検討していく。

(教育部長)

市としては、水泳授業を継続していきたい。そのための方法を検討するため、実証を行うものである。

(高崎委員)

インストラクターは水泳の指導はプロフェッショナルだが、教育面で子供の接し方には心配がある。

(教育総務課長)

授業に支障のないよう、教員とインストラクターとの打ち合わせを設けることについても検討していきたい。

(市長)

教員と連携しながら、インストラクターにより子どもたちに正しいルールや楽しい水泳を教えていければと考えている。市民プールについてのご意見はございますか。

(太田委員)

学校のプールがなくなるのであれば、市民プールが必要となってくると思う。児童・生徒以

外も含めた複合的な施設のあり方について考えていく必要がある。

(高崎委員)

過去に名古屋市には、150円で利用できる市民プールがあった。田原市も充実していただきたい。

(市長)

民間プールの経営を圧迫することにならないように調整していきたい。
スクールバスについてはご意見ございますか。

(高崎委員)

運転手の雇用形態はどのように考えているのか。

(教育総務課長)

児童・生徒の送迎以外には、学校の環境整備や音楽祭などのイベントにも利用できる。車両のローテーションも含めて検討していきたい。

(教育部長)

運転手の確保に苦慮しているが、消防職員の再雇用ができれば救急救命の知識もあり安心できる。雇用時間やローテーションも含めて検討していく。

(天野委員)

福江高等学校と福江中学校の中高一貫教育など、学校間の交流についてもスクールバスが利用できればありがたい。

(教育総務課長)

現在の委託業務では、登下校以外はオプションとなり費用が必要となる。また、福江中学校のスクールバスであるため、他校の生徒は乗せることができない。直営になれば、授業の一環として全体で調整すれば対応できると考えている。

(教育長)

近隣の学校でなくても、社会見学として「シェルマよしご」や「図書館」などをスムーズに回ることができるようになる。

(市長)

他にご意見・ご質問など無いようですので、次に、(2)部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について、事務局から説明をお願いします。

(学校教育課長から(2)について説明)

(市長)

部活動見直しに向けた今年度の取り組みと今後の予定について、事務局から説明がありました。市内には、民間のクラブがあまりないので、音楽などの文化面の活動がなくなってしまうことが心配である。そこを含めて、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(太田委員)

働き方改革は理解できるが、部活動では目標を持って厳しさを経験することができる。子どもたちに経験させる場について考える必要がある。中学校の方が部活動の負担は大きいので、

部活動指導員なども含めて考えていく必要がある。

(金田委員)

部活動で一生懸命努力することを今後どのように学ぶのかということが不安である。

(高崎委員)

成功哲学などを体得するうえでは残念に思うが、時代の流れで指導方法も変わってきているので、クラブチーム化がベストだと思う。芸術的な感性を養う意味でも、音楽祭などがなくなるとは残念である。

(天野委員)

部活動も子どもによってはプラス面もマイナス面もあるが、どちらの場合も将来のために役に立っている。希望制を導入していくことはいい方向性だと思う。

(市長)

子どもの可能性を伸ばすことは必要だが、教員の時間的な制約が生じてきた。部活動については、何らかの形で残してほしい。

(教育長)

部活動の意義を再確認し、田原市の部活動がどうあるべきかを考えていく。今後もさまざまな場面でご意見をお聞きしていきたい。

(市長)

他にございませんか。無いようですので、その他に移ります。事務局から何かございますか。

無いようですので、本日の議事等はすべて終了いたしました。以上をもちまして、令和元年度第2回田原市総合教育会議を閉会させていただきます。

(閉会 午前11時58分)